

REPORT

富士山の恵みの水 柿田川自然観察会



観察会の様子

令和6年8月17日(土)に、公益財団法人柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会の方を案内役として迎え、柿田川自然観察会を実施しました。今年も多くの方々からの申し込みがあり、当日は62名に御参加いただきました。開会式は湧水広場にて、公益財団法人柿田川みどりのトラストの漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)から、柿田川の自然についてのお話や、観察会にあたっての注意事項(ミシマバイカモ等の貴重な植物が生育している所には保護のために近づかない、水流が強い区域には出てはいけない)、お願い(昆虫や魚類等の生物は、捕まえて観察したら必ず放流する)の説明を受けました。



何がいるかな…?

これは何ですか?

その後、参加者は川に入り、魚やモクズガニなどの様々な生物を捕まえたり、バケツ等に入れて観察していました。川から引き上げたタモに生物が入っていると参加者から喜びの音が聞こえました。夏の晴天の日でも、約15℃の湧水は長時間入っていると足が冷たく感じましたが、参加者の皆様には、休憩と水分補給をしながら、普段入れない場所での貴重な体験を楽しんでいただくことができました。



NEWS × COLUMN × REPORT

REPORT

令和6年度 外来植物撲滅大作戦



外来植物撲滅大作戦 水ヶ塚



外来植物撲滅大作戦 須走

今年度第1回目の外来植物撲滅大作戦は、令和6年7月6日(土)に水ヶ塚駐車場で実施しました。株式会社環境アセスメントセンターの方を講師に迎え、27名が参加して外来植物の除去を行いました。日射を避け、東屋で説明を聞いた後、2班に分かれて作業を行いました。今回除去対象とした外来植物はハルサキヤマガラスで、合計20.4kgを除去することができました。

五合目周辺で実施しました。外来植物撲滅大作戦を須走口で行うのは今回が初めてでした。富士自然観察の会の方を講師に迎え、32名が参加して外来植物の除去を行いました。霧雨が舞う時間帯があり、ひんやりとした空気の中で説明を聞いた後、須走口五合目から古御岳神社まで往復しながら自然観察を楽しみ、その後除去作業を行いました。今回除去対象とした(国内)外来植物はオオバコで、合計27.7kgを除去することができました。

外来植物除去活動は、継続することが重要です。今後、撲滅大作戦等を通して普及啓発を行いますので、御理解・御協力お願いいたします。

